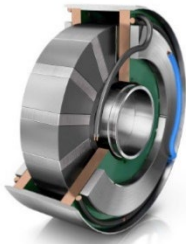


シェフラーがハノーバーメッセ 2022、ホール 6、ブース C48 に出展

軽量ロボットとコボット用高性能ダイナミックモーター

- 高出力密度による高レベルなロボット速度とペイロード容量
- 設計方策を通じてコギングトルクほぼゼロを実現
- 新素材が支える軽量化とエネルギー効率向上

Schweinfurt | 2022 年 04 月 06 日 | シェフラーの UPRS シリーズモーターは、よりコンパクトな設計外形、軽量化、高トルク密度を実現し、その速度は市場に出回る従来のドライブを平均80%上回るものとなっています。今回新たに開発されたアキシアルフラックス型モーターは、PCB(プリント基板)形状用に設計されたコイルを採用しており、特殊設計の回路板によって高い銅含有量、優れた放熱性、エネルギー効率向上を可能にしています。銅の高い含有量と永久励起式のアキシアルフラックス型モーター設計は、トルクに対してもプラスの効果があり、こうしたモーターにつきものの停止ロスを最小化します。シェフラーのエンジニアは、モーター設計を最適化することで、コギングトルクをほぼゼロ(「ゼロコギング」)まで低減することに成功しました。これはティーチングモード等の領域に対しても注目すべき好影響を与えるものです。モーターのアクティブコンポーネントに新素材を体系的に使用しており、モーター重量を低減し、エネルギー効率を向上させています。シェフラーの UPRS シリーズモーターは現在、14、17、25、32 の 4サイズで展開されており、外径は 53 mm から115 mm、軸長さは 21 mm から 33 mm です。フレームレスモーターの標準であるため、隣接する構造物のベアリングサポートも利用でき、設計外形と重量の両方を低減させています。



シェフラーのUPRSシリーズモーターは、非常に小型の設計外形、軽量化、高トルク密度を実現し、その速度は市場に出回る従来のドライブを平均80%上回っています。

シェフラーグループ – We pioneer motion シェフラーグループは自動車および産業機械分野における世界的なリーディングサプライヤーとして、75年以上にわたり、モーションとモビリティの分野において画期的な発明や開発を行ってきました。電動モビリティ、CO₂効率に優れたドライブシステム、インダストリー4.0、デジタル化、そして再生可能エネルギーなどのための革新的なテクノロジーや製品及びサービスの提供において、当社はモーションとモビリティをより効率的でインテリジェントかつ持続可能なものにするための信頼されるパートナーです。また当社はパワートレインやシャシー用の高精度コンポーネントやシステム、多くの産業機械用の転がり軸受や滑り軸受のソリューションを開発・製造している技術会社です。シェフラーグループは2021年には約139億ユーロを売上げました。約83,000人の従業員を擁するシェフラーは世界最大級のファミリーカンパニーです。また、シェフラーは2021年には1,800件以上の特許出願を行っており、DPMA(ドイツ特許商標庁)によればドイツで3番目に革新的な企業です。

連絡先

シェフラージャパン広報部 ジュディアン・ゴ

TEL: +81 45-287-9151

E-mail: pr-japan@schaeffler.com

